

# 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 懇談会(第4回)説明資料

平成20年9月2日

事務局作成資料

事務局:国土交通省 近畿地方整備局

豊岡河川国道事務所

# 第4回懇談会の議題

## 1. 第3回懇談会での意見と対応

- (1) コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮（案）
- (2) 生物多様性について

## 2. 「概略ルート（推奨案）」

- (1) 概略ルート案（3案）と前回懇談会意見
- (2) 概略ルート（推奨案）

## 3. 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会 [とりまとめ（案）]

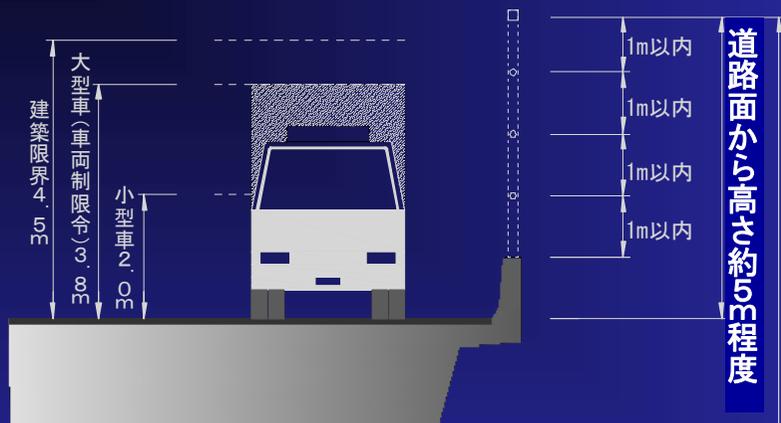
- ・ 豊岡道路の市民参画型道路計画（アンケート調査及び懇談会）の流れ
  - (1) アンケート調査結果の概要
  - (2) 豊岡道路懇談会での議論の概要
  - (3) 配慮事項
    - ① 豊岡道路計画における配慮事項
    - ② 「豊岡道路」概略ルート（推奨案）での配慮事項

# 1. 第3回懇談会での 意見と対応

## 意見に対する対応

第3回懇談会での意見	対 応
・コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮が必要	コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮 (案)
・道路の内部景観(ドライバーの視点)への配慮が必要	
・生物多様性の保全と創造を考慮する	生物多様性について

# (1) コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮(案)



## 高さのイメージ

※コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮の具体的な構造などの検討については、今後、引き続きコウノトリの行動特性より、コウノトリの郷公園の専門家の意見を聞きながら進める

高さ1m以内の間隔

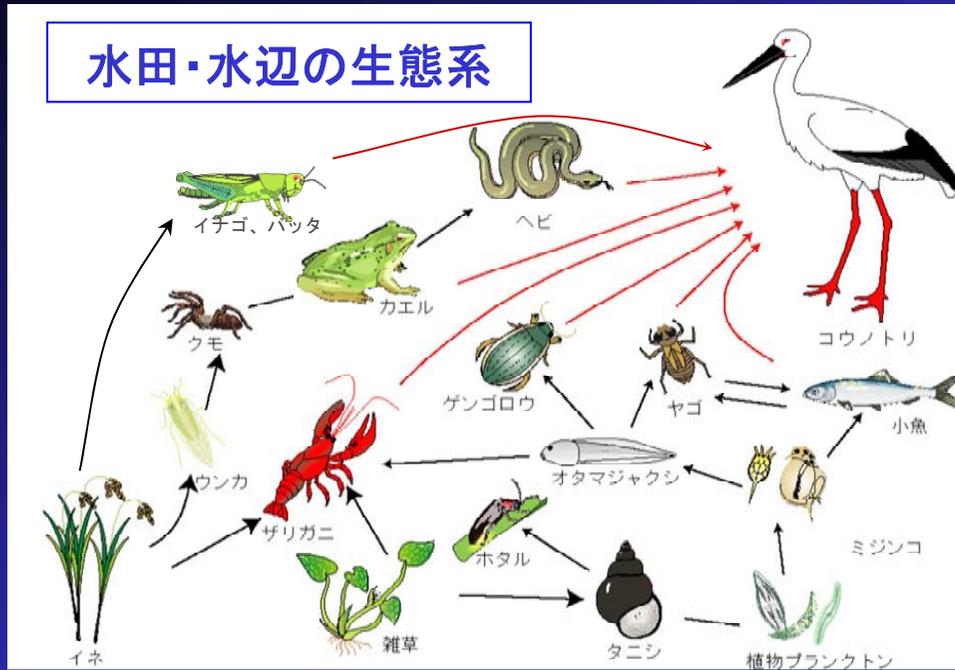


## イメージ

- コウノトリの保護の観点と走行車両の安全の観点から「コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮」が必要であり、今後、具体的な飛翔誘導などの検討を進めるが、検討条件は以下のとおり
- コウノトリは、壁になっていなくても、高さ方向1m以内の間隔で障害物があれば通り抜けられない(コウノトリの郷公園より)
- 大型車との衝突を防ぐため、大型車の高さを余裕をもって越える高さの物が必要
- コウノトリの衝突を防ぐ配慮を行うにあたり、道路の内部景観(ドライバーの視点)にも配慮が必要
- 管理上の問題が少ない構造とすることが必要

## (2) 生物多様性について

### 水田・水辺の生態系



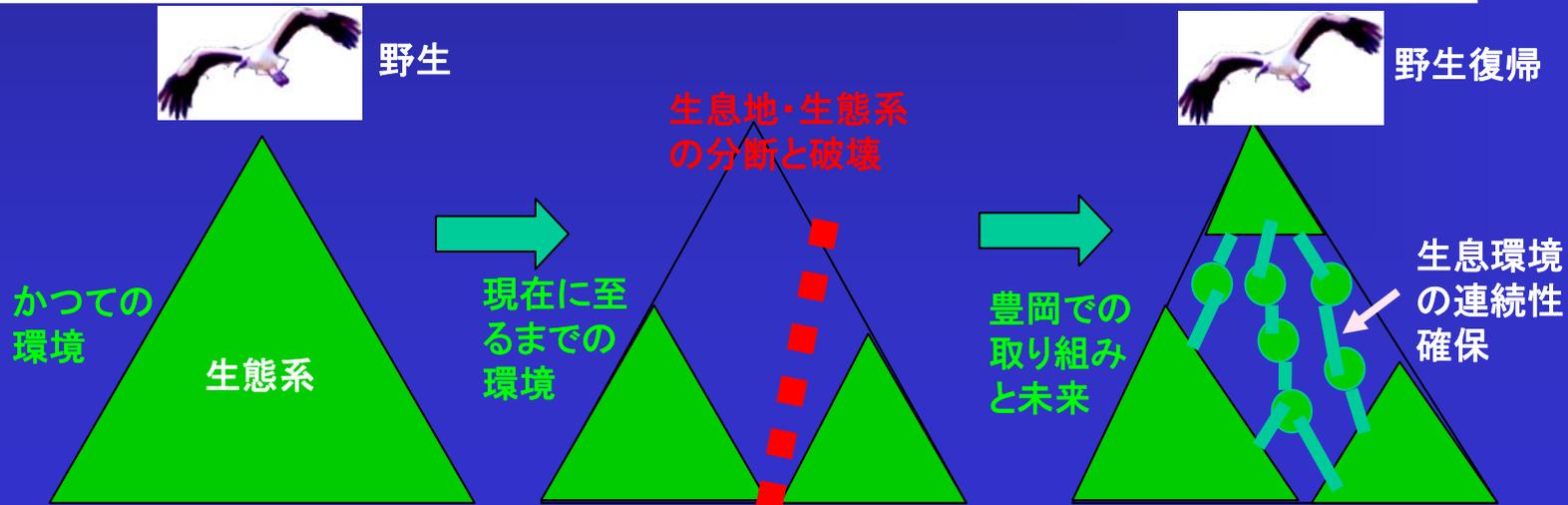
### 生物多様性について

- 生息環境の連続性を確保することは、生物の多様性につながり、生態系の頂点にいるコウノトリが暮らせる環境につながります。
- 豊岡盆地を代表する田園生態系について、生物多様性のある生態系ネットワーク(特に水のネットワーク)に配慮する必要があります。

### 豊岡道路計画における配慮

- 豊岡においての、生物の生息環境の連続性を確保する取り組みに配慮した計画とします。
- 水田通過部においては、生物の生息環境の連続性に配慮します。

## 生態系のイメージと生物の生息環境の連続性を確保する豊岡での取り組み



コウノトリの郷公園資料をもとに作成

## 2. 「概略ルート（推奨案）」

# **(1) 概略ルート案（3案）と 前回懇談会意見**

# 概略ルート案(3案)

## 概略ルート(案)の基本条件

### <道路の機能>

- 1.所要時間の大幅短縮、一般道の渋滞解消、事故減少に寄与する道路
- 2.災害時、冬季積雪時に機能する道路
- 3.緊急医療活動に資する道路

### <道路の線形>

- 1.豊岡道路のおおよその範囲の中でコントロールポイントを避けたルート
- 2.南端は(仮称)豊岡南IC、北端は国道178号
- 3.曲線半径、縦断勾配等の幾何構造は道路構造令の標準値以上
- 4.豊岡病院の近くを通過
- 5.台風23号の浸水高以上
- 6.鳥取豊岡宮津自動車道が今後計画された場合に接続できるルート

概略ルート(案)の基本条件であり、設定するルート(案)でその機能等に大きな差は生じない。

## 設定した概略ルート(案)

○道路の線形の基本条件から、概略ルート(案)3案が設定可能

○各案のコンセプトは以下のとおり

### ①案(環境優良案)

- 豊岡南ICから山地部の西側を通過し、新堂付近で国道178号に接続するルート案
- コウノトリの餌場や景観等への配慮が優れる

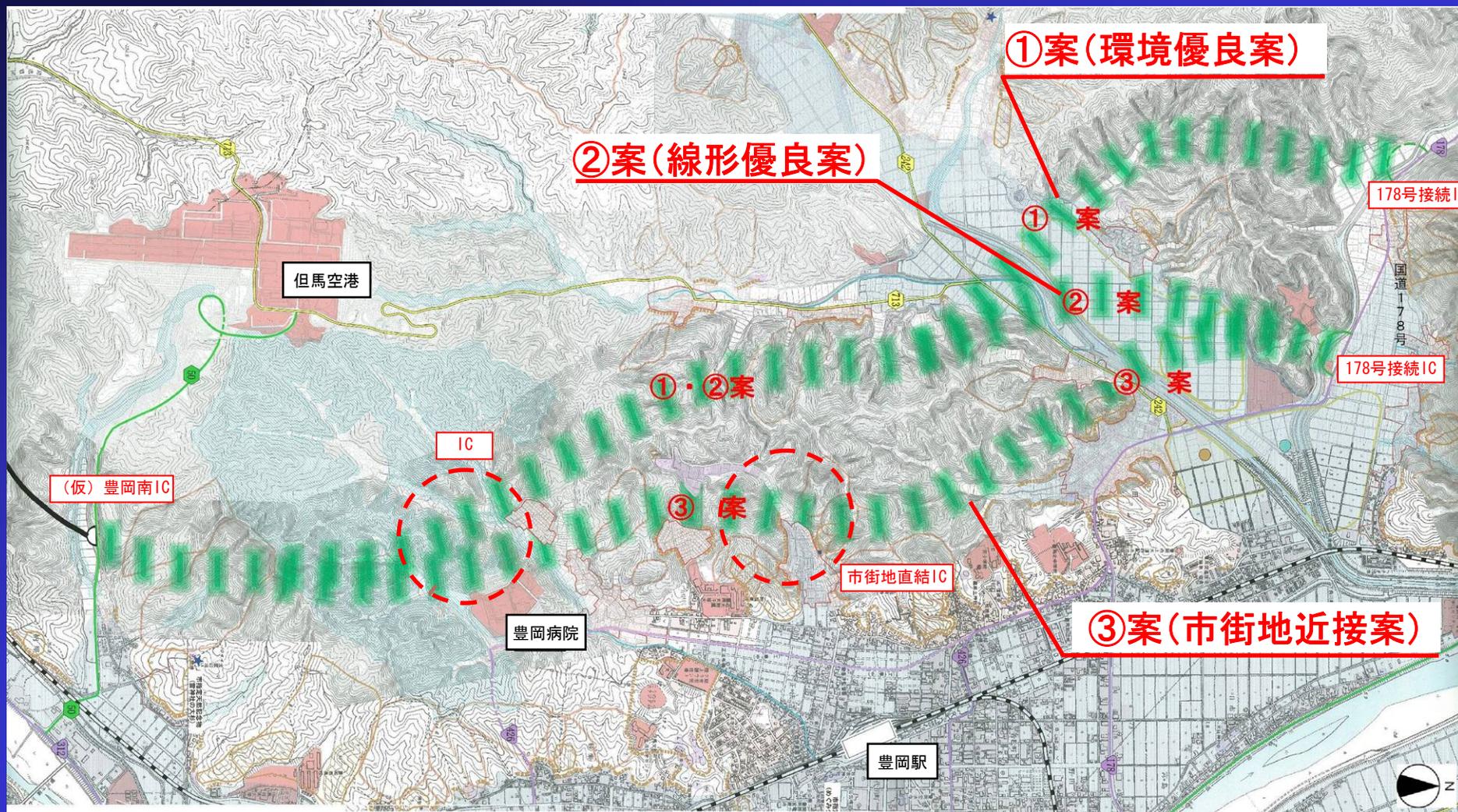
### ②案(線形優良案)

- 豊岡南ICから山地部の西側を通過し、森津付近で国道178号に接続するルート案
- 道路線形が優れ、走行性がよい

### ③案(市街地近接案)

- 豊岡南ICから山地部の市街地側を通過し、森津付近で国道178号に接続するルート案
- 市街地直近への追加IC設置の可能性を検討する案で、コウノトリの餌場はコントロールから除外

# 概略ルート案(3案)



## 概略ルート案(3案)に対する懇談会意見

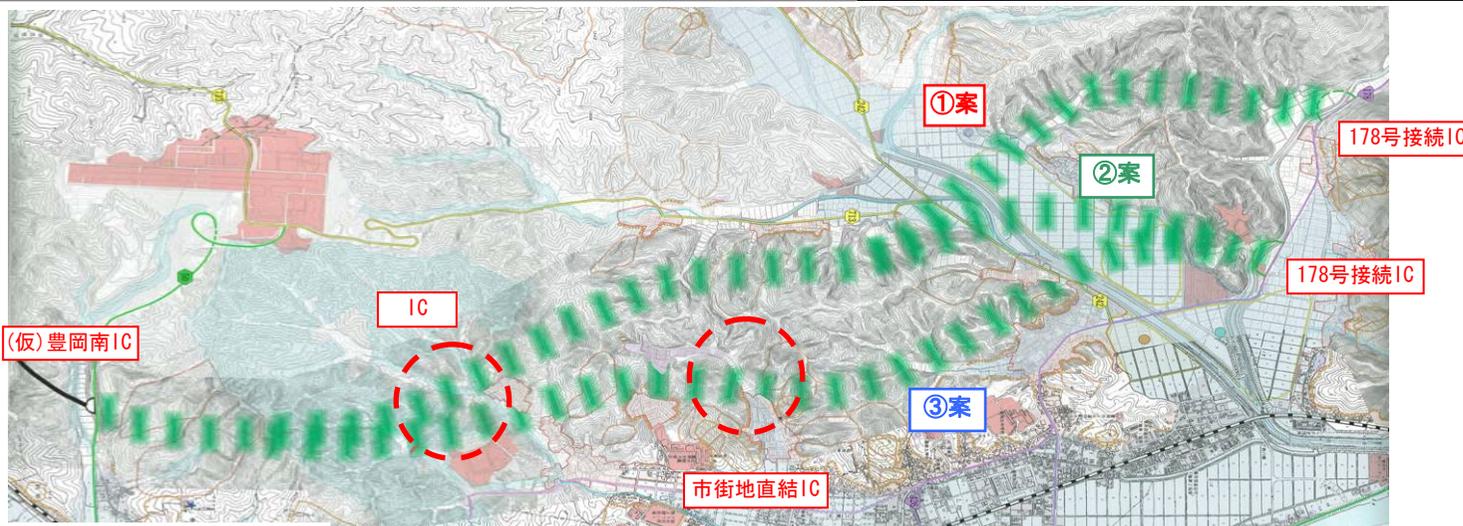
### 第3回懇談会での意見

- ・②案と③案は現在コウノトリが良く利用している区域を通過
- ・①案が景観面ですっきりしている
- ・自然環境、軟弱地盤、アクセスポイントを考慮して①案が良い
- ・生物多様性の保全と創造など、環境全体に配慮した道路づくりを積極的に
- ・近年食料自給率の確保が重要視され田圃や畑をこわさない道路計画にすべき

# 概略ルート案(3案)の比較(その1)

意見があった項目

優位と考える項目



## 地域の活性化

但馬地域の課題		①案(環境優良案)	②案(線形優良案)	③案(市街地近接案)
所要時間の大幅短縮	道路延長及び豊岡道路通過時間	おおよそ7km強[約6分]	おおよそ7km弱[約5分]	おおよそ7km弱[約5分]
	京阪神(大阪市)～城崎までの所要時間	現況の約180分から140分に短縮		
生活道路の渋滞緩和		通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少	通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少	通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少 追加IC設置の場合、ICアクセスが分散するため、①・②案より一般道の交通量は減少する可能性がある

# 概略ルート案(3案)の比較(その2)

意見があった項目

優位と考える項目

## 環境と暮らしを守る道路の整備

但馬地域の課題		①案(環境優良案)	②案(線形優良案)	③案(市街地近接案)
交通事故の減少		高速道路利用による事故減少、一般道の交通量減少による事故減少		
環境との調和	福田・栃江の水田支障延長(コウノトリの餌場、地域農業への影響)	約350m+栃江の狭い谷部 約500m 水田のまとまりの奥(上流側)で影響(新堂付近でも影響)	約850m 水田のまとまりのほぼ中央で影響	約550m 水田のまとまりの入口(下流側)で影響
	生活環境(大気質、騒音等)への配慮が必要となる可能性のある地区	戸牧第二団地、栃江(西)集落	戸牧第二団地、森津・滝の178号沿道建物	豊岡病院、戸牧第二団地、戸牧集落、戸牧第一団地、高屋集落、福田集落、栃江(東)集落
	地形改変量(自然環境の保全)	栃江～新堂の区間をトンネルにすることにより、他案よりやや切土量は少なくなる	卸売市場西側の山を通過する分、切土量は①案より多くなる	豊岡病院付近、市街地直結のIC部の切土量が多くなる
	景観(特に配慮が必要と予想される視点場と眺望景観の課題等)	福田・栃江付近は、谷奥で奈佐川の流軸に直角に短く通過 栃江(西)集落から南西の景観が課題	卸売市場から福田・栃江付近を広範囲に横切る 栃江(西)集落の正面を横切る景観が課題、切土が課題	豊岡病院、戸牧第二団地からの景観が課題、卸売市場から福田を広範囲に横切る景観が課題、切土が課題
災害時の輸送道路確保		大規模災害時には、緊急輸送道路として機能する 豊岡市内外を連絡する主要南北道路が北近畿豊岡自動車道と国道312号の2本となり、リダンダンシーが向上する		
地域医療の支援		豊岡病院付近にインターチェンジを設置することにより、但馬地域の救急医療に寄与		
冬季交通の確保		堆雪幅の確保、必要に応じて融雪設備等を設置することにより、積雪時にも機能する		

# 概略ルート(案)の比較(その3)

意見があった項目

優位と考える項目

## 近傍の避けるべきコントロールポイント

項目	① 案 (環境優良案)	② 案 (線形優良案)	③ 案 (市街地近接案)
住宅、公共施設 等	戸牧第二団地、 栃江(西)集 落	戸牧第二団地、豊 岡市第二清掃セン ター跡地、森津・ 滝の178号沿道建 物	細見川堰堤、豊岡病院、戸牧第二団地、 戸牧集落、戸牧第一団地、高屋霊園、高 屋集落、福田集落、栃江(東)集落、豊 岡市第二清掃センター跡地、森津・滝の 178号沿道建物 追加IC設置の場合、アクセス道路により、 15~20件支障する可能性あり
現在使用しているコウノト りの餌場	支障しない	福田及び栃江の餌 場を通過	考慮しない(支障する)
オオタカの営巣期高利用域	支障しない		

## 配慮・検討事項

項目	① 案 (環境優良案)	② 案 (線形優良案)	③ 案 (市街地近接案)
地形・地質条件	豊岡南IC北側の土石流危険溪流区域、豊岡病院付近に広がる砂防指定地		
	軟弱地盤帯(主に 田圃)の通過部 (通過延長最短)	軟弱地盤帯(主に 田圃)の通過部 (通過延長最長)	軟弱地盤帯(主に田圃)の通過部 (通過延長は①案、③案の間)
	□岩井集落東側の土石流危険溪流区域		戸牧第一団地南側の土石流危険溪流区域、 戸牧第一団地及び高屋集落付近の地滑り 危険箇所及び急傾斜地危険崩壊区域

# 概略ルート案(3案)の比較(その4)

意見があった項目

優位と考える項目

## 円滑な事業の推進（早期事業化）

項目	①案 (環境優良案)	②案 (線形優良案)	③案 (市街地近接案)
事業費	道路延長はやや長い が、軟弱地盤帯の通 過延長が短いため、 ②案と同程度	道路延長はやや短い が、軟弱地盤帯の通 過延長が長いため、 ①案と同程度	追加IC設置の場合、追加IC費、ICへのアク セス道路設置費及びその補償費のため、他 案より高い
事業手法	早期に整備効果を発揮させるため、地元関係者及び関係機関とのスムーズな合意形 成を目指して早期事業化を図るとともに、早期供用可能な供用形態を検討する		
課題	地元との合意形成 コウノトリの誘致に 積極的な地域の通過 が最小限	地元との合意形成 コウノトリの誘致に 積極的な地域を大き く通過する	合意形成が必要な地区、支障物件が非常に 多い コウノトリが現在餌場としている範囲の水 田を大きく通過する 追加IC設置の場合、インターチェンジ間距 離が非常に短く、交通安全面に課題あり

概略ルート(推奨案)を選定

## (2) 概略ルート (推奨案)

## 概略ルート(推奨案)

### ①案(環境優良案)

3つの概略ルート(案)の比較を行った結果、[①案(環境優良案)]が、環境との調和などにおいて他の案に比べ優れており、コウノトリのえさ場及び農地への影響が少なく、地形改変量が少なく、景観に優れ、軟弱地盤通過延長が短い。

※地域を活性化する道路の機能や役割と費用については、3案ともほとんど差がない。



事務局案:

[①案(環境優良案)]を概略ルート(推奨案)とする

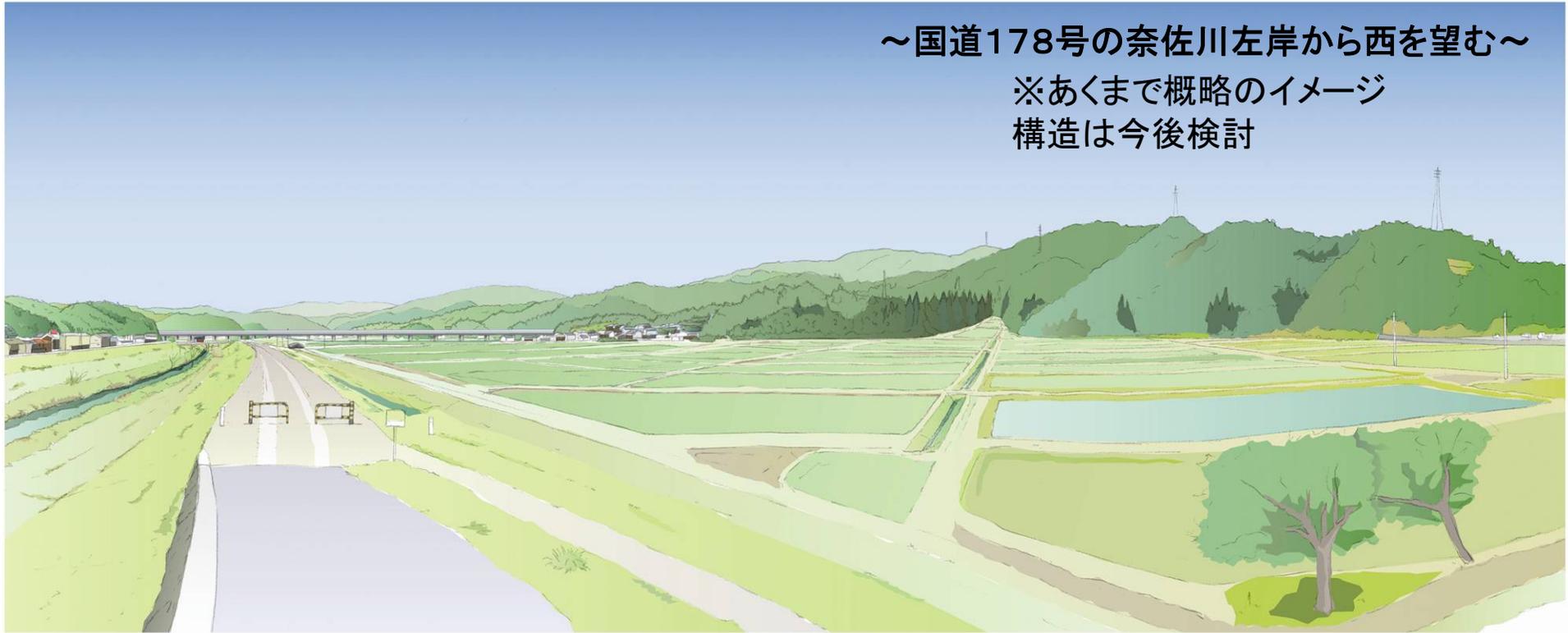


## 概略ルート(推奨案)のイメージスケッチ

### 国道178号の奈佐川左岸からの景観

～国道178号の奈佐川左岸から西を望む～

※あくまで概略のイメージ  
構造は今後検討



### **3. 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 懇談会〔とりまとめ（案）〕**

## はじめに

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の設立趣旨  
北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の概要  
市民参画型道路計画の流れ

## (1) アンケート調査結果

豊岡道路アンケート調査結果

## (2) 懇談会での議論の内容

但馬地域の交通における現状と課題  
豊岡道路に求められる機能及び整備効果  
豊岡道路の必要性  
コウノトリに関する検討  
景観の考え方  
農業への配慮  
コントロールポイントと配慮事項  
概略ルート(推奨案)

## (3) 配慮事項

豊岡道路計画における配慮事項  
概略ルート(推奨案)の配慮事項

## おわりに

今後の予定  
あとがき

# 「豊岡道路」市民参画型道路計画(アンケート調査及び懇談会)の流れ

**住 民**  
 「豊岡道路」アンケート調査  
 平成19年8月～9月

情報発信  
 ←  
 →  
 意見

- 懇 談 会**
- 第1回 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会**  
 平成20年2月8日開催  
 ・豊岡道路に求められる機能及び整備効果  
 (豊岡道路アンケート結果より)
  - 第2回 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会**  
 平成20年3月13日開催  
 ・豊岡道路計画で考慮する事項  
 (コントロールポイントと配慮事項)
  - 第3回 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会**  
 平成20年6月13日開催  
 ・概略ルート案(3案)を提示して比較
  - 第4回 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会**  
 平成20年9月2日開催  
 ・概略ルート(推奨案)  
 ・懇談会「とりまとめ(案)」

情報発信  
 (資料作成)  
 ←  
 →  
 意見

事務局

情報発信  
 (ホームページ)  
 →  
 ←  
 意見

住 民

懇談会「とりまとめ」

→  
 情報発信  
 (ホームページ、市広報)  
 →  
 ←  
 意見

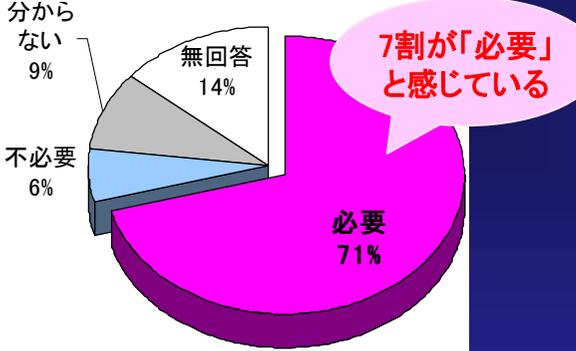
# (1) アンケート調査結果

配布数	回収数	回収率
34,286	11,862	34.6%

(平成19年8月下旬～9月下旬, 豊岡市内全世帯及び商工会議所・商工会会員全員に配布)

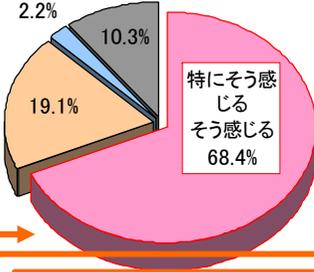
## ① 豊岡道路に求められる機能及び整備効果

豊岡道路が必要と思うか

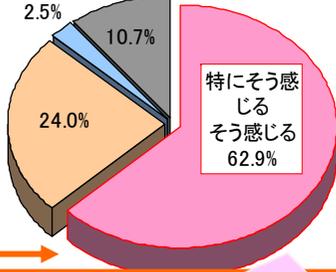


「豊岡道路」の整備で期待される効果

観光客が増え、地域が活性化するという

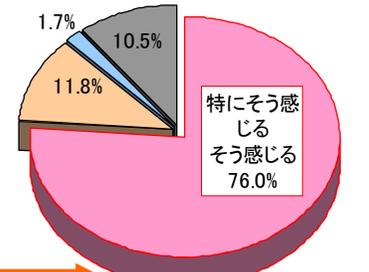


産業の競争力が増し、地域が活性化するという



～アンケート結果～

観光シーズンなど休日の交通渋滞が緩和するという



地域を活性化

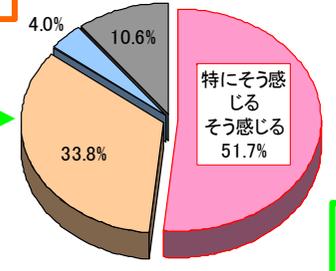
- 所要時間の大幅短縮
- 観光客の増加
- 企業立地の促進
- 生活道路の渋滞緩和

環境と暮らしを守る

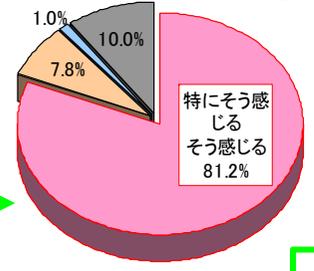
- 交通事故の減少
- 自然・環境との調和
- 災害時の輸送道路確保
- 地域医療の支援
- 冬季交通の確保

豊岡道路整備による地域活性化と渋滞緩和に多くの方が期待を寄せている

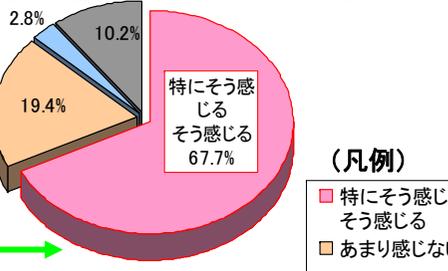
豊岡の市街地の道路で交通事故が減ると思う



災害時緊急輸送道路として利用できて安心



第3次救急医療施設の豊岡病院まで速く安全に行けて安心



降雪時でも、国道312号より安全に車が走行できる



環境と暮らしを守るための道路整備に期待が高い

(凡例)  
 ■ 特にそう感じる  
 ■ そう感じる  
 ■ あまり感じない  
 ■ 全く感じない  
 ■ 無回答

## ②豊岡道路を整備する際にどの様なことに配慮すべきか

地域を活性化

所要時間の大幅短縮

観光客の増加

企業立地の促進

生活道路の渋滞緩和

環境と暮らしを守る

交通事故の減少

自然・環境との調和

災害時の輸送道路確保

地域医療の支援

冬季交通の確保

市街地の改変

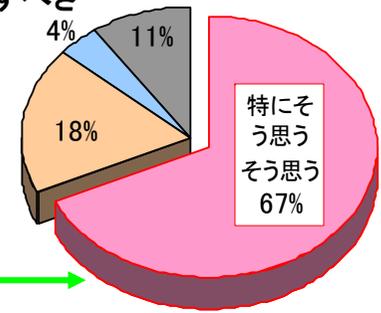
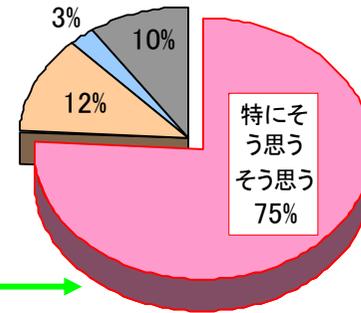
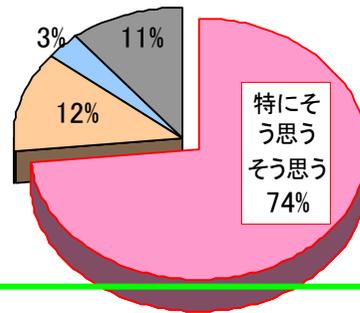
### 「豊岡道路」を整備する際に、どの様なことに配慮すべきか

～アンケート結果～

豊岡市の西側にルートが  
来ることは概ね妥当

住宅地を避けるルートとすべき

コウノトリやタカなど貴重な動植物  
と共存できるルート・構造に  
すべき

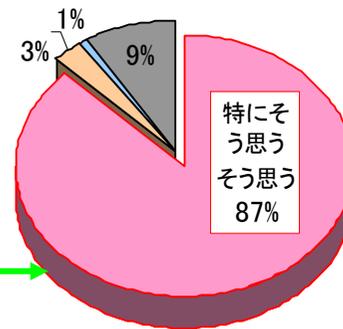
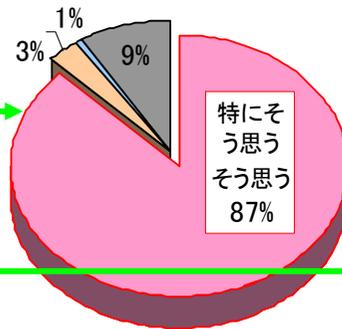


(凡例)

- 特にそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- 全く思わない
- 無回答

災害時でも緊急輸送道路として  
走行できるルート・構造にすべき

除雪した雪を道路端に置き、  
冬場でも走行しやすい道幅にすべき



市民の暮らしや動植物との共存など  
環境を守ることに  
配慮した道路整備  
が求められている

## (2) 懇談会での議論の内容

### ① 豊岡道路に求められる機能及び整備効果

地域を活性化

所要時間の大幅短縮

・大都市圏や、近畿圏外の各地とのアクセス性も向上

観光客の増加

・観光地が身近になり、来訪客の増加が期待

企業立地の促進

・物流の迅速化で沿線の新規企業立地が進む

生活道路の渋滞緩和

・朝と夕方、観光シーズンの渋滞が緩和

環境と暮らしを守る

交通事故の減少

・国道312号等での交通事故の発生を低減

自然・環境との調和

・但馬の豊かな自然環境に配慮した計画とする

災害時の輸送路確保

・災害時における緊急輸送路として機能する

地域医療の支援

・公立豊岡病院へのアクセスが向上

冬季交通の確保

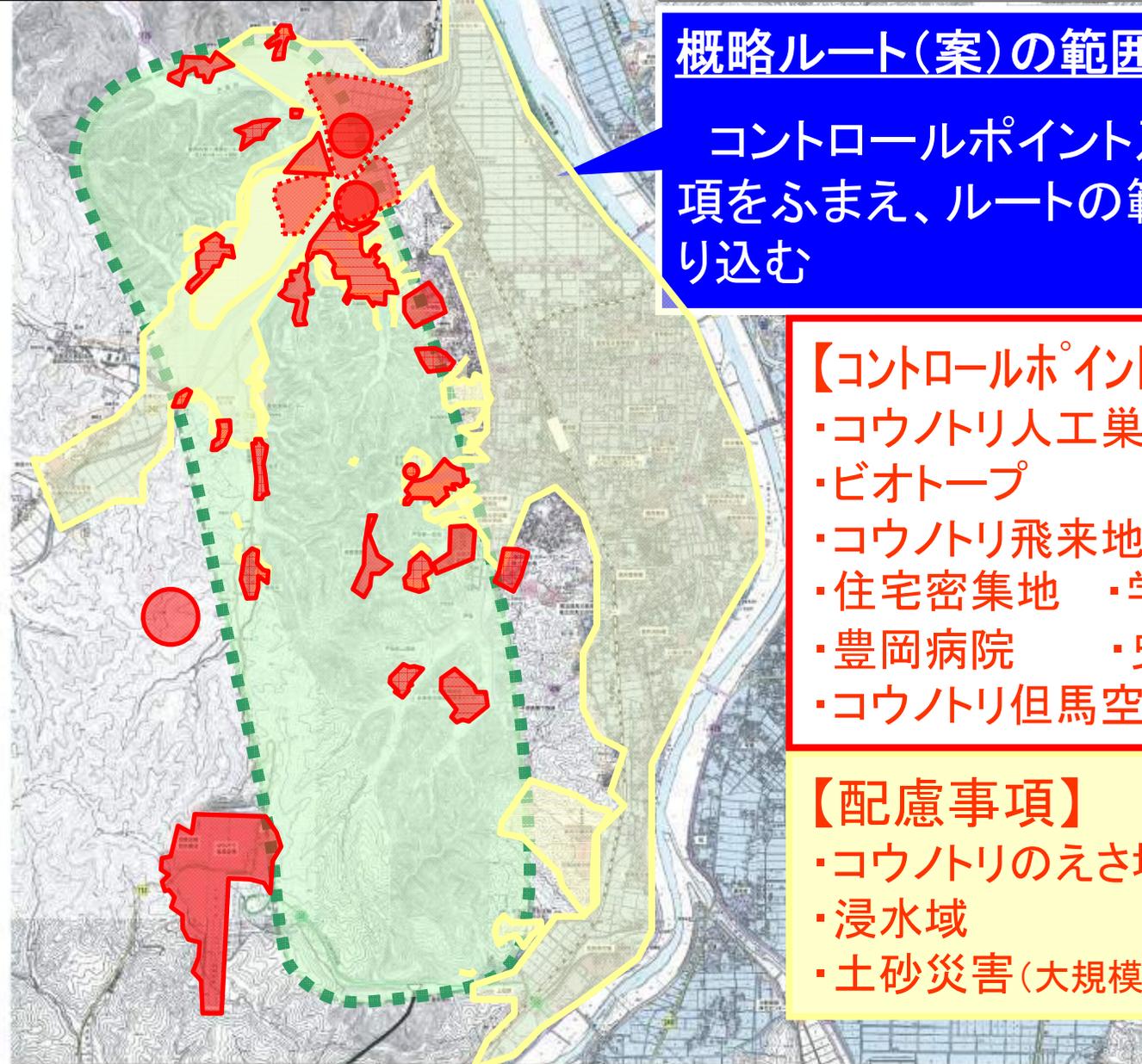
・大雪時でも但馬地域の市民の生活を支える

## ②「豊岡道路」懇談会での主な意見

主な意見	対 応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮による地域活性化のため高規格幹線道路(高速道路)としての豊岡道路の整備が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮効果の大きい高規格幹線道路(高速道路)として豊岡道路を整備する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のため早期整備が重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のため、早期供用が図れる様に努力して計画を進める</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬地域の課題に対して、既存一般道路改良と豊岡道路(高速道路)整備の効果の比較検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較検討の結果、求められる機能と役割に対応する豊岡道路(高速道路)整備が適切と判断した</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターチェンジの必要性について議論する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡病院と市街地からアクセスのよい位置に1箇所中間インターチェンジを設置する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福田・栃江の水田はコウノトリのえさ場となっている</li> <li>・コウノトリなど豊岡の自然財産を見に来てもらう道路としたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリに対する配慮を行いながら地域活性化に資する道路を整備する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮が必要</li> <li>・道路の内部景観(ドライバーの視点)への配慮が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮(案)を提示</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境への配慮に関して、懇談会と環境アセスメントの位置付けが不明確</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡道路の事業の流れを説明し、今後実施する環境影響評価(環境アセスメント)実施時に動植物の調査などの詳細な環境現地調査を実施する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全と創造など、環境全体に配慮した道路づくりを積極的に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡においての、生物の生息環境の連続性を確保する取り組みに配慮した計画とし、水田通過部においては、生物の生息環境の連続性に配慮する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従事者への配慮が必要で、近年食料自給率の確保が重要視され水田や畑を壊さない道路計画にすべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリ育む農法などの地域の農業に対する取り組みに配慮し、優良農地の通過延長を短くする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会の時点から景観に配慮し検討する必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概略ルート(案)レベルでのイメージスケッチを作成して検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡道路のコントロールポイントと配慮事項と概略ルート(案)の範囲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡道路のコントロールポイントと概略ルート(案)の検討範囲について整理して検討</li> </ul>

### ③概略ルート(推奨案)の決定経緯

#### コントロールポイントと配慮事項



### 3. 概略ルート(案)の範囲の考え方

#### 概略ルート(案)の範囲の考え方

コントロールポイント及び配慮事項をふまえ、ルートの範囲を絞り込む

#### 【コントロールポイント】

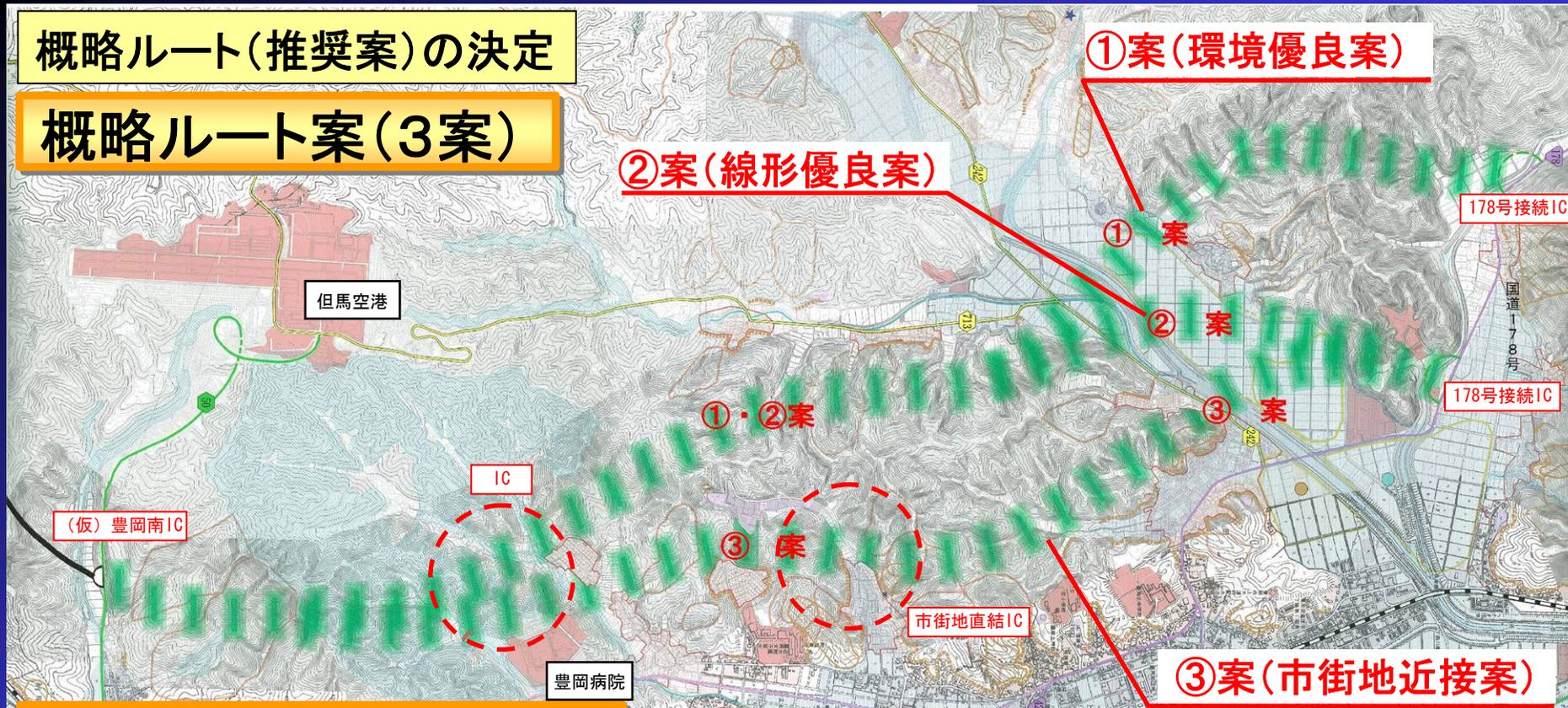
- ・コウノトリ人工巣塔
- ・ビオトープ
- ・コウノトリ飛来地(えさ場)
- ・住宅密集地
- ・学校
- ・豊岡病院
- ・史跡・霊園
- ・コウノトリ但馬空港
- 等

#### 【配慮事項】

- ・コウノトリのえさ場(将来)
- ・浸水域
- ・土砂災害(大規模なもの除く)

## 概略ルート(推奨案)の決定

### 概略ルート案(3案)



### 概略ルート(推奨案)

#### ①案(環境優良案)

3つの概略ルート(案)の比較を行った結果、[①案(環境優良案)]が、環境との調和などにおいて他の案に比べ優れており、コウノトリのえさ場及び農地への影響が少なく、地形改変量が少なく、景観に優れ、軟弱地盤通過延長が短い。

※地域を活性化する道路の機能や役割と費用については、3案ともほとんど差がない。

[①案(環境優良案)]を概略ルート(推奨案)とする

## **( 3 ) 配慮事項**

- ① 豊岡道路計画における配慮事項**
- ② 「豊岡道路」概略ルート（推奨案）での配慮事項**

# ①豊岡道路計画における配慮事項(案)

地域を活性化させ、環境と暮らしを守ることに配慮した計画

地域を活性化	所要時間の大幅短縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間短縮効果の大きい高規格幹線道路として整備する</li> <li>近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路と連携し、将来、鳥取豊岡宮津自動車道が計画されれば接続し、高速道路ネットワーク全体の機能向上と、京阪神との時間短縮により、但馬地域を活性化させる道路とする</li> <li>地域活性化のため、早期供用が図れる様に努力して計画を進める</li> </ul>
	観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬の自然環境を活かした観光資源へのアクセス向上、広域的な観光周遊の円滑化により、観光活性化を支援する道路とする</li> </ul>
	企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業・物流拠点や市中心部とのアクセス向上が図られる計画とする</li> </ul>
	生活道路の渋滞緩和	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地西側の山地部を通過させて市街地の通過交通を排除し、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを計画して、市街地から各方面への交通を豊岡道路に分担させ、既存一般道路の渋滞を緩和するとともに、交通事故を削減する</li> </ul>
環境と暮らしを守る	交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地西側の山地部を通過させて市街地の通過交通を排除し、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを計画して、市街地から各方面への交通を豊岡道路に分担させ、既存一般道路の渋滞を緩和するとともに、交通事故を削減する</li> </ul>
	自然・環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の機能と利便性や経済性と、環境や景観とのバランスを考慮したルート・構造とする</li> <li>自然環境の豊かな地域の道路であり、地形改変ができるだけ少ないルート・構造とする</li> <li>環境影響評価実施時に、動植物の調査を十分行って適切な対応を図る</li> </ul>
	生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の頂点にあるコウノトリやオオタカでも暮らせるような生物多様性のある生態系ネットワークに配慮した計画とし、動植物との共生が図れるように、生息・生育地の分断をできるだけ避けて計画する</li> </ul>
	貴重野生生物との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>コウノトリの利用頻度の高い餌場(福田・栃江の水田)はできるだけ大きなまとまりで残すルートにするとともに、コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮を行う</li> <li>オオタカの営巣期高利用域は避けて計画する</li> </ul>
	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地等の生活環境への影響をできるだけ及ぼさないようなルート・構造とする</li> </ul>
	景観との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬の景観と調和しながら、魅力的な景観を創出するルート・構造とする。</li> </ul>
	災害時の輸送道路確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時においても寸断しにくい道路とし、緊急輸送道路の確保及び但馬空港にある広域防災拠点との連絡を確保して、災害時の市民の命を守り、災害時の生活圏の孤立を防ぐ道路とする</li> <li>大雨でも浸水しない高さで計画するとともに、軟弱地盤の通過延長が短いルートとする</li> </ul>
	地域医療の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬地域唯一の第3次救急医療施設である豊岡病院付近にインターチェンジを計画する</li> </ul>
冬季交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬季の快適な交通サービスを支えられる様に、積雪時の交通確保に配慮した計画とする</li> </ul>	
市街地の改変など	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の社会活動及び生活環境への影響に配慮し、公共施設や住宅等を可能な限り避けたルート・構造とする</li> <li>優良農地の通過延長をできるだけ短くするルートとする</li> <li>地域の墓地や文化財等に配慮した計画とする</li> </ul>	

## ②北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」概略ルート(推奨案)での配慮事項(案)

